

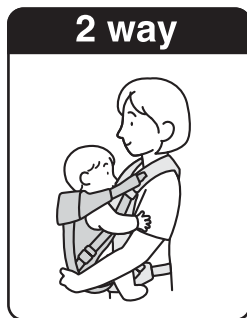
コンビ ニンナナンナ はじめてホールド 4ウェイ8スタイル F-180 Baby Soft Carrier

取扱説明書

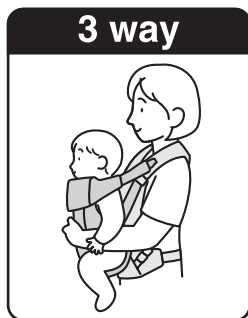
ご使用前に必ずこの取扱説明書をよくお読みの上、
正しくお使いください。
また、本書はいつでも見られる場所に大切に保管して
ください。
本品を他の方にお譲りになるときには、必ず本書もあ
わせてお渡しください。



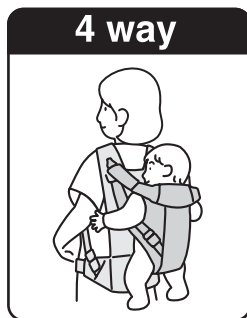
<ヨコだっこ>



<タテ対面だっこ>



<タテ前向きだっこ>



<おんぶ>

もくじ

お使いいただく前に

ご使用前に	1
安全にお使いいただくために	2
「はじめてホールド」の使いかたスタイル	5
各部のなまえ	6
各部の調節方法	7

ヨコだっこ

(0ヵ月～首がすわるまで)	
ヨコだっこで使うには	8

タテ対面だっこ

(首がすわってから～11.3kgまで)	
対面だっこで使うには	12

タテ前向きだっこ

(首がすわってから～11.3kgまで)	
前向きだっこで使うには	16

おんぶ

(首がすわってから～14.9kgまで)	
おんぶで使うには	18

お手入れ

お手入れ	裏表紙
------------	-----

ご使用の前に

このたびはニンナナンナ はじめてホールド 4ウェイ8スタイルをお買い上げいただき、ありがとうございます。

この製品は、お子さまを「だっこ」や「おんぶ」して、外気浴、買い物のときなどに使用するための1人用子守帯です。ご使用の前に、6ページの「各部のなまえ」をご確認ください。

● お子さまを「ヨコだっこ」「タテ対面だっこ」「タテ前向きだっこ」「おんぶ」できます。

■ 使用できるお子さまの月齢について

(お子さまの発育により、同じ月齢でも体格や体重には個人差があります)

使いかたのスタイル	参考月齢					体重
	0ヵ月 ▼	首がすわる ▼	腰がすわる ▼	12ヵ月 ▼	30ヵ月 ▼	
1way ヨコだっこ style 1 	 生後すぐから～ 首がすわるまで (4ヵ月頃まで)					7.0kgまで
2way タテ対面だっこ style 2 style 3 style 4 	style 2-3  首がすわってから～ (12ヵ月頃まで) style 4  腰がすわってから～ (12ヵ月頃まで)					11.3kgまで
3way タテ前向きだっこ style 5 style 6 	style 5  首がすわってから～ (12ヵ月頃まで) style 6  腰がすわってから～ (12ヵ月頃まで)					11.3kgまで
4way おんぶ style 7 style 8 	 首がすわってから～ (30ヵ月頃まで)					14.9kgまで

※ 使用者の適用ウエストサイズは、110cmまでです。

※ 冬場など厚着をしますと、お子さまの体格によっては使用できなくなることがあります。お子さまの体格を考慮し、無理のない服装でご使用ください。

安全にお使いいただくために

安全上の注意

ここに示した注意事項は、製品を安全に正しくお使いいただき、使用者およびお子さまへの危害や物的損害を未然に防止するためのものです。また注意事項は危害や物的損害の大きさと危害の度合いを示すもので、誤った取り扱いをすると生じることが想定される内容を「警告」「注意」の2つに区分しています。

いずれも安全に関する重要な内容ですので、必ず守ってください。



警告

誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負うおそれがある内容を示します。



注意

誤った取り扱いをすると、人が傷を負ったり、物的損害が想定される内容を示します。

☐ 枠(2~4ページ)の中に具体的な注意内容が書かれています。

記号は警告・注意を促す内容があることをお知らせするものです。

警告

お子さまの乗せおろしは、**必ず安全な場所で行ってください。**

不安定な場所などでは、お子さまが落下するおそれがあります。



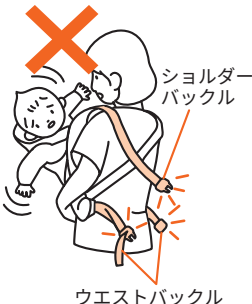
使用中に走ったり、飛び跳ねたり45°以上の前かがみや横曲げなどの**無理な姿勢**はしないでください。

お子さまが落下するおそれがあります。



ご使用の際は、必ず左右の「**ショルダーバックル**」と「**ウエストバックル**」をとめてください。

とめないで使用すると、肩からショルダーベルトがはずれ、お子さまが落下するおそれがあります。



ショルダーバックル
ウエストバックル

ヨコだっこするときは「ヨコだっこシート」、タテだっこやおんぶをするときは「タテだっこ&おんぶシート」を使用してください。



次のようなお子さまには、ヨコだっこで**使用しないでください。**

- **体重7.0kg以上のお子さま**
- **ヨコだっこシート取り付け時にヘッドガード部から頭部が出るお子さま**
- **寝返りができるお子さま**
お子さまの身体に思わぬ負担をかけたり、傷害を負うおそれがあります。



ヨコだっこするときは、お子さまの頭部を足よりも高い位置にし、必ず後頭部を手でください。

不安定な状態で抱くと、お子さまの身体に思わぬ負担をかけたり、傷害を負うおそれがあります。



安全にお使いいただくために(つづき)

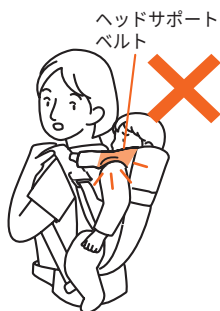
警告

ヨコだっこするときは、U
字型ハンギングボードの
「フック」を必ず「Dリング」
に通し、「フック受け」にか
けてください。

お子さまが落下するおそれ
があります。



タテだっこやおんぶをする
とき、お子さまの肩がタテ
だっこ & おんぶシート
のヘッドサポートベルトに
当たってしまうときには、「深
さアジャストベルト」を長く
してください。シートが短
いままですと、お子
さまが落下するおそれ
があります。



首がすわっていないお子さ
まに対しては、絶対にタテ
だっこ、あるいはおんぶを
しないでください。

お子さまの首に思わぬ負担
をかけたり、傷害を負うお
それがあります。



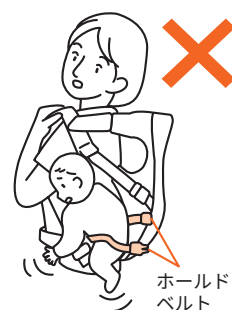
だっこするときは、必ず手
でください。

お子さまの予期せぬ動きに
対応できず、落下するおそ
れがあります。



「ホールドベルト」を確実に
とめてください。

とめないで使用する、お
子さまがずれ落ちるおそ
れがあります。



タテだっこやおんぶをする
とき、左右の「セーフティベ
ルト」の長さは、きつめに調
節してください。

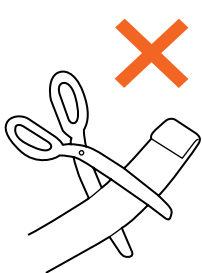
お子さまと使用者の間にす
き間がありすぎたり、左右の
ベルトの長さが違ったりす
ると、お子さまの予期せぬ
動きに対応できず、落下す
るおそれがあります。



おんぶ時の「ヘッドサポー
トベルト」の長さは、ベルト
の端がベルトの始まりと重
なる位置の長さに調節く
ださい。それ以上の長さ
では、お子さまの予期
せぬ動きに対応できず、
落下するおそれ
があります。



ベルトの先端の返し縫い部
分をほどこたり、製品を改
造しないでください。
故障や重大な事故につな
がるおそれがあります。



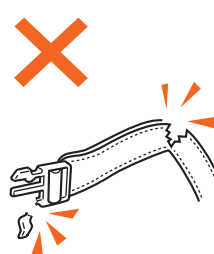
⚠ 注意

授乳後約30分以内や、連続2時間以上の使用はしないでください。

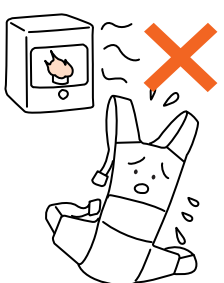
お子さまや使用者に思わぬ負担をかけるおそれがあります。また、使用者が痛みや不快を感じたときは、使用を中止してください。



製品のほつれ、傷、やぶれを見つけたとき、またバックルなどの部品が破損したときには、すぐに使用を中止してください。そのまま使用すると、事故につながるおそれがあります。



製品を火の近くや屋外に放置しないでください。熱や雨水などでバックルや生地などが変質し、事故につながるおそれがあります。



お子さまをだっこ、またはおんぶする以外の目的では、使用しないでください。破損・故障の原因になります。

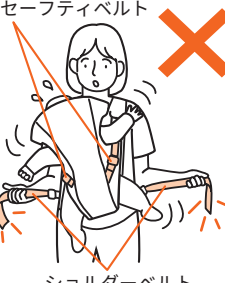


深さアジャストベルトを最大にした状態でタテだっこやおんぶをする際は、必ず「揺れどめテープ」を使用してください。使用者とお子さまとの間が、離れすぎてしまうおそれがあります。



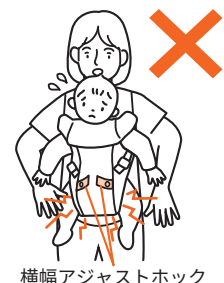
揺れどめテープ

ショルダーベルトやセーフティベルトの余りは、同じ長さになるように調節してください。左右の長さが異なると、お子さまが斜めになるおそれがあります。



ショルダーベルト

タテ前向きだっこの際は、必ず「横幅アジャストホック」をとめてご使用ください。お子さまの足がうっ血するおそれがあります。



横幅アジャストホック

「深さアジャストベルト」の余りは、同じ長さになるように調節してください。左右のベルトの長さが異なると、お子さまが斜めになるおそれがあります。



深さアジャストベルト

「らくらくフィットボード」の長さはだっこの際は短い状態、おんぶの際は長い状態で使用してください。短い状態で使用すると使用者に思わぬ負担をかけるおそれがあります。



「長さアジャストホック」が短い状態

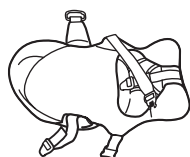
「はじめてホールド 4ウェイ8スタイル」の使いかたスタイル

「はじめてホールド 4ウェイ8スタイル」は以下のような組み合わせで、使いかたのスタイルがあります。

お子さまの成長やお使いの場面によって、「4ウェイ8スタイル」の使い分けができます。

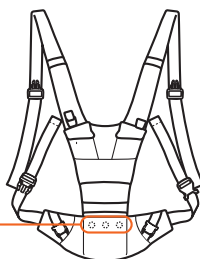
製品の組み合わせ

ヨコだっこシート
(U字型ハンギングボード)



長さアジャストホックは、
短い状態で使います。

らくらくフィットボード



●1way ヨコだっこ

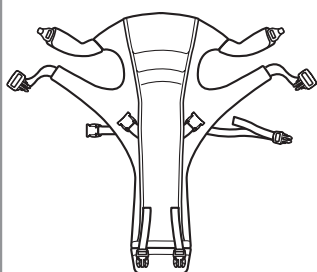
style
1



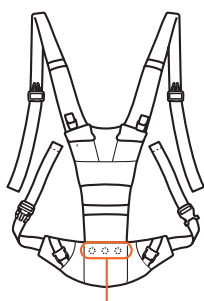
生後すぐ～
首がすわるまで

製品の組み合わせ

だっこ&おんぶシート



らくらくフィットボード



長さアジャストホックは、
だっこは短い状態、
おんぶは長い状態で使います。

●2way タテ対面だっこ

style
2



首がすわってから

style
3



style
4



腰がすわってから

●3way タテ前向きだっこ

style
5



首がすわってから

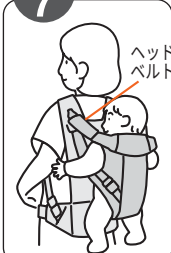
style
6



腰がすわってから

●4way おんぶ

style
7



style
8



首がすわってから

※ヘッドサポートベルトの長さは、
おんぶ仕様にしてください。
詳しくは、21ページをご覧ください。

●パッケージの内容をお確かめください。

パッケージには、次のものが入っています。ご使用前に、お確かめください。

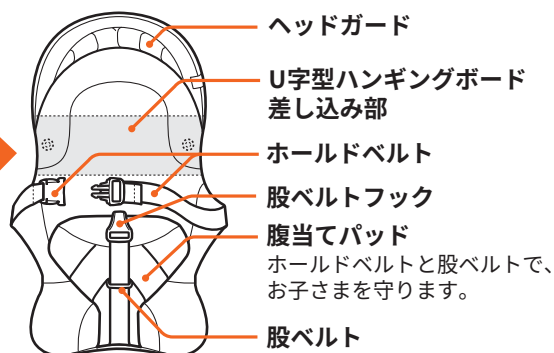
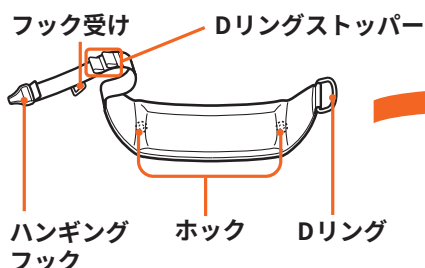
- らくらくフィットボード
- ヨコだっこシート
- U字型ハンギングボード

- タテだっこ&おんぶシート(フックカバー：2個)
- 取扱説明書(本書)
- クイックマニュアル

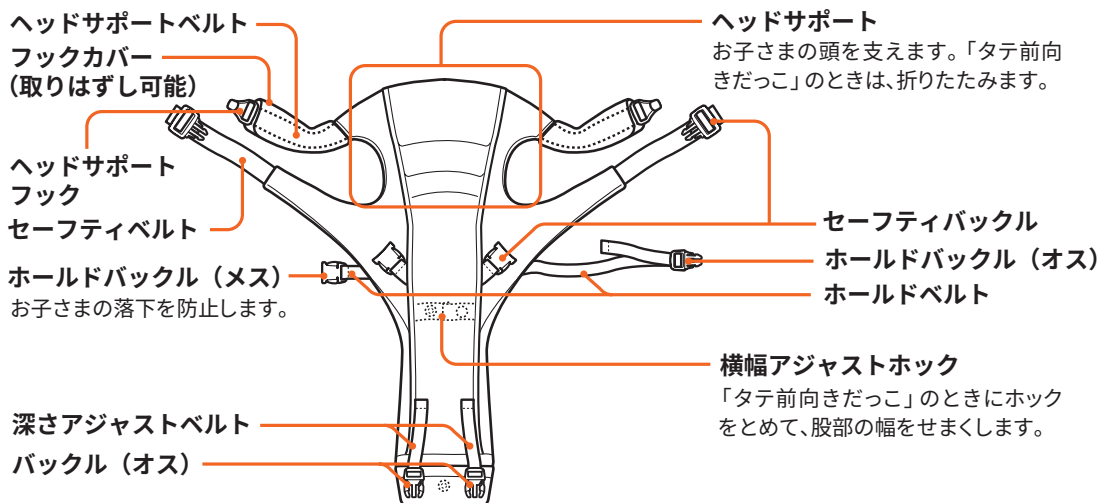
各部のなまえ

ヨコだっこシート（U字型ハンギングボード）

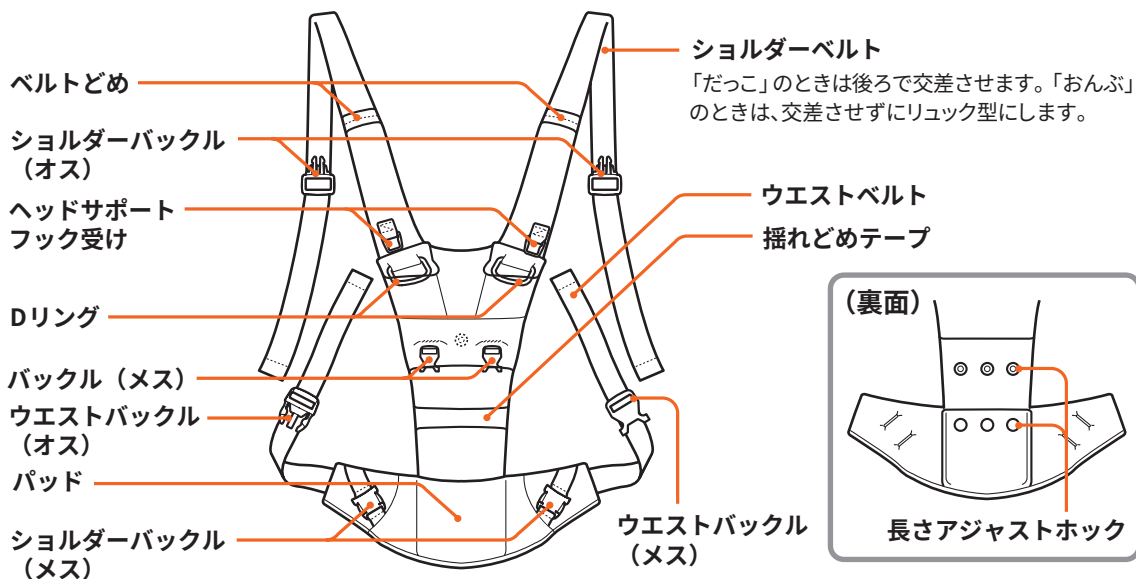
●U字型ハンギングボード



タテだっこ&おんぶシート



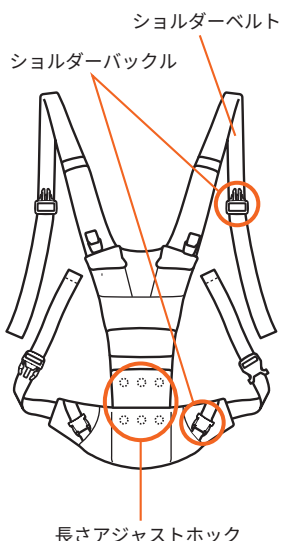
らくらくフィットボード



各部の調節方法

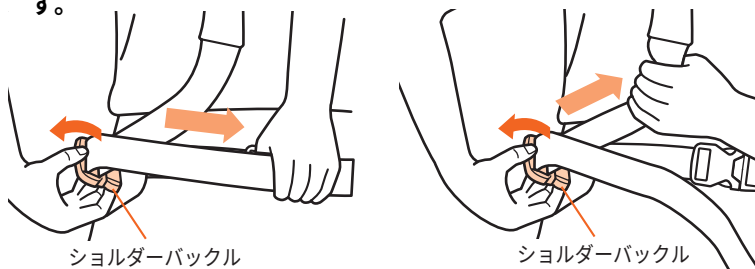
- ここでは、「はじめてホールド」を最適な状態でご使用いただくため、「らくらくフィットボード」と「タテだっこ&おんぶシート」の各部の調節方法を説明しています。

らくらくフィットボード



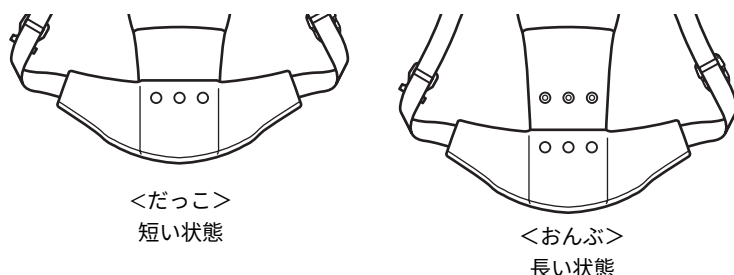
ショルダーベルトの長さを調節する

- 短くするときにはバックルを立てて、ベルトの端を引っ張ります。
- 長くするときにはバックルを立てて、ベルトを引き戻します。

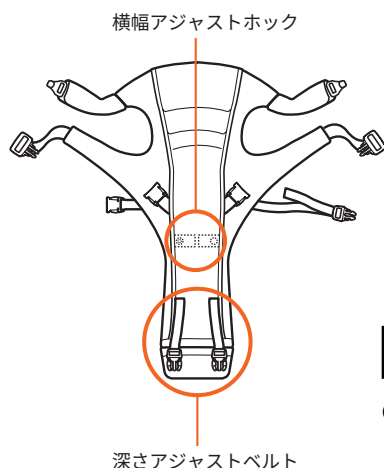


長さアジャストホックを調節する

- 長さアジャストホックを、「だっこ」用と「おんぶ」用に調節します。

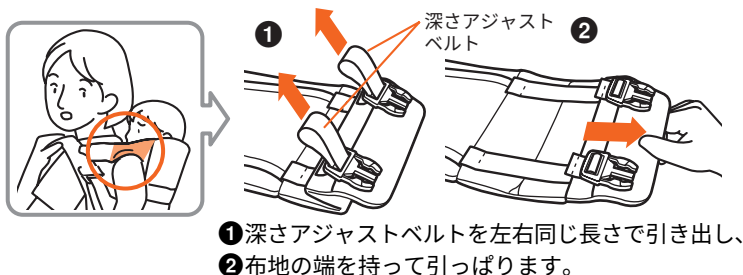


タテだっこ&おんぶシート



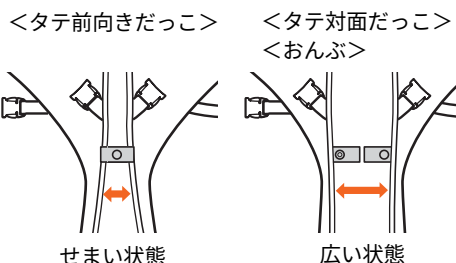
深さアジャストベルトの長さを調節する

- お子さまの肩が、タテだっこ&おんぶシートのヘッドサポートベルトに当たるようになったら、「深さアジャストベルト」を長くして、タテだっこ&おんぶシートの深さを調節してください。



横幅アジャストホックを調節する

- 前向きだっこの際に、横幅アジャストホックをとめて横幅をせまくし、お子さまの太もものうっ血を防ぎます。





ヨコだっこで使うには

- ヨコだっこは、あらかじめ、らくらくフィットボードを使用者が装着し、ヨコだっこシートに寝かせたお子さまをだっこします。
- 長さアジャストホックの位置は、短い状態にします。
- ヨコだっこシートは、U字型ハンギングボードの装着のしかた(9ページ手順1)により、右だっこ・左だっこ、どちらでもお使いいただけます。ここでは、**左だっこ**で説明しています。



左だっこ



右だっこ

1 way

ヨコだっこ

(生後すぐから首がすわるまで)

用意するもの ●ヨコだっこシート (U字型ハンギングボードを取り付ける)
●らくらくフィットボード (長さアジャストホックを短い状態にする)

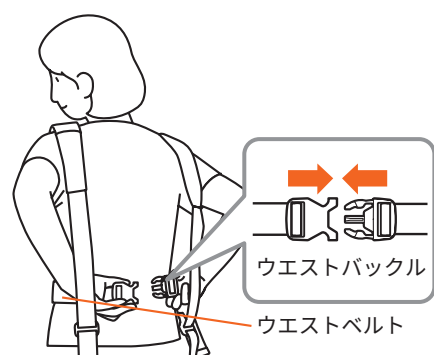
らくらくフィットボードを準備する

1

ウエストバックルをとめる

ウエストベルトを後ろにまわしてバックルでとめ、長さを調節します。

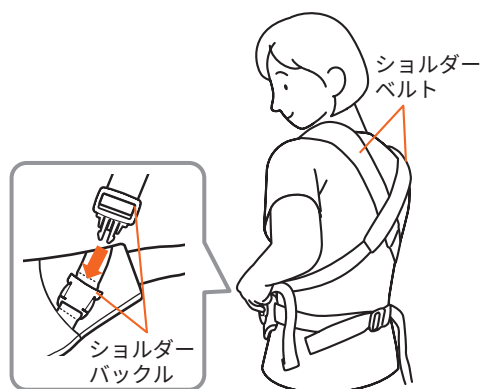
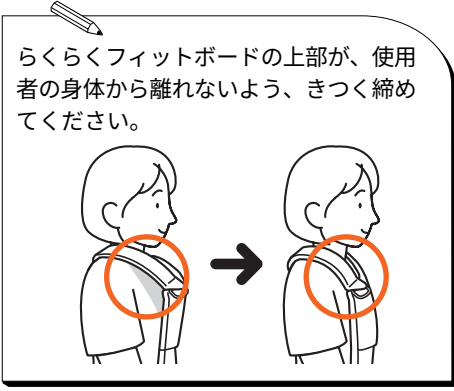
らくらくフィットボードのパッドが下腹部にしっかり固定されるように調節してください。



2

ショルダーバックルをとめる

らくらくフィットボードを胸に当て、ショルダーベルトを背中中で交差させてショルダーバックルでとめ、長さを調節します。(「ショルダーベルトの長さを調節する」7ページをご覧ください)



警告 左右のショルダーバックルは必ずとめてください。お子さまが落下するおそれがあります。

注意 ショルダーベルトの余りは、同じ長さになるように調節してください。左右の長さが異なるとお子さまが斜めになるおそれがあります。



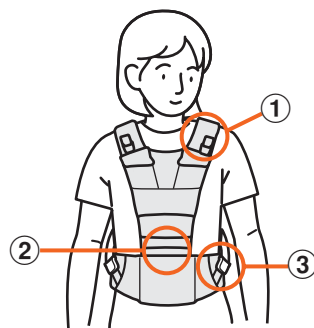


ヨコだっこで使うには

らくらくフィットボードの装着チェック

装着後は、以下の点をチェックしてください。

- ① ショルダーベルトの胸の部分が身体にフィットしていること
- ② 「長さアジャストホック」は短い状態になっていること
- ③ ウエストベルトとパッドは下腹部にしっかり固定されていること



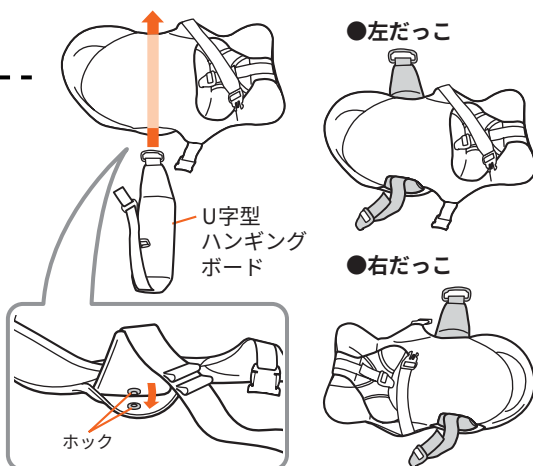
お子さまをヨコだっこシートに入れる

1

ヨコだっこシートとU字型ハンギングボードを用意する

ヨコだっこシートの差し込み口に、Dリングを先にしてU字型ハンギングボードを差し込み(右だっこも同様)、ホック(2カ所)でとめます。

※イラストは、左だっこで説明しています。

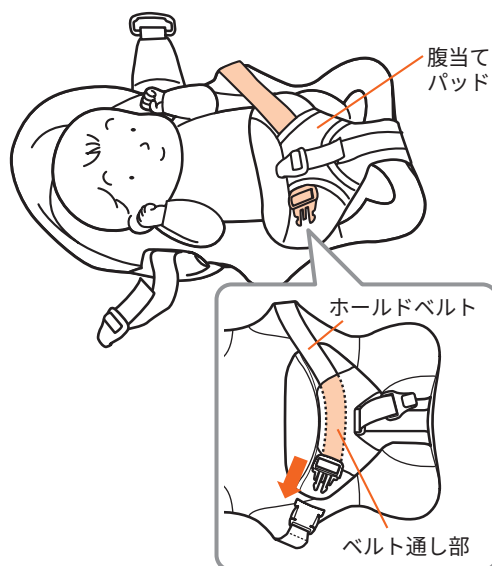


2

お子さまを寝かせ、ホールドベルトのバックルをとめる

安全な場所にヨコだっこシートを置いて、その上にお子さまを寝かせます。

腹当てパッドをお子さまの上に置き、ホールドベルトを、ベルト通し部を通してバックルでとめます。



お子さまを寝かせるときには

お子さまのお尻が、図のようにヨコだっこシートの「お尻を置く場所」になるようにしてください。

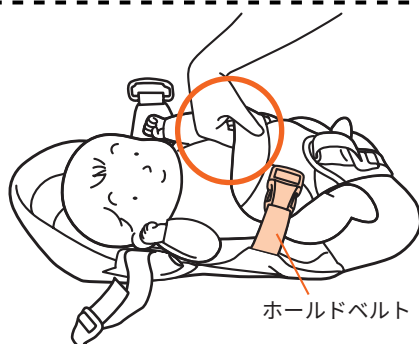


「ホールドベルトのバックル」は確実にとめてください。とめないで使用すると、お子さまがずれ落ちるおそれがあります。

3

腹当てパッドの装着を確認する

腹当てパッドとお子さまの間に、大人の指が2〜3本入れられるすき間があることを確かめます。きつかったり、ゆるかったりするときは、ホールドベルトの長さを調節してください。



お子さまをヨコだっこする

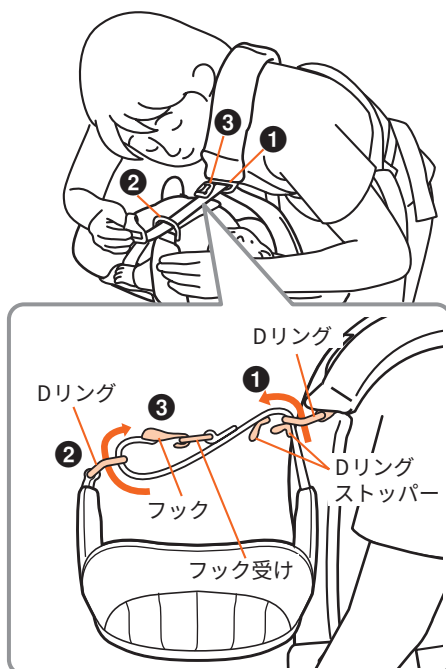
1

フックを下から通してかける

使用者がかがみ、U字型ハンギングボードのフックを持ち、①らくらくフィットボード左胸のDリングの下から通します。

つぎに、②U字型ハンギングボードのDリングに、下からフックを通し、③ベルトのフック受けにかけ、「カチッ」と音がするまでとめます。

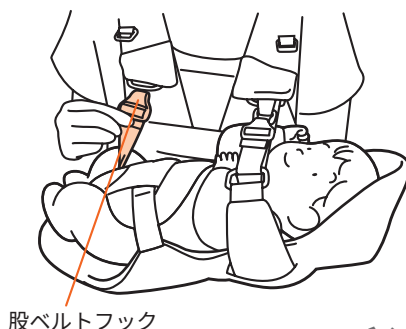
- 右だっこするときには、U字型ハンギングボードのフックを右胸のDリングに通します。
- このフックは、はずれたときにDリングで止まる、ダブルストッパー機構です。



2

股ベルトフックをかける

ヨコだっこシートの股ベルトフックを、右胸のDリングにかけ、「カチッ」と音がするまでとめます。



股ベルトフック





ヨコだっこで使うには

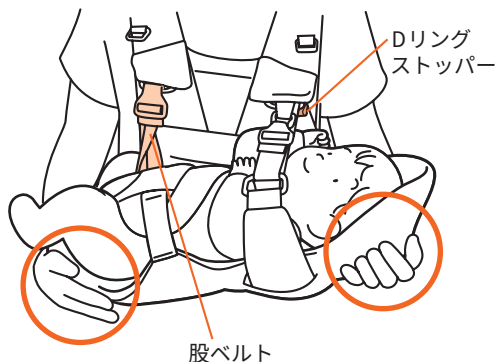
3

お子さまをだっこする

お子さまの頭部とお尻を手で支えながら、身体を起こし、お子さまを抱き上げます。



お子さまの体の角度を変えるには、股ベルトの長さを調節してください。股ベルトが短い場合は、お子さまの体は水平になり、長い場合は、お子さまのお尻が少し下がります。



このとき、らくらくフィットボードのDリングがU字型ハンギングボードの「Dリングストッパー」でとまるようにします。



警告
ヨコだっこするときは、お子さまの頭を足よりも高い位置にし、必ず後頭部を手で支えてください。不安定な状態で抱くと、お子さまの身体に思わぬ負担をかけたり、傷害を負うおそれがあります。

Dリングストッパーの使いかた

- お子さまを水平に抱く場合
手前のストッパーでとめます。



- お子さまを内向きに抱く場合
奥のストッパーでとめます。



ヨコだっこの装着完了



はずしかた

装着するときとは、逆の手順ではずします。



2 way

タテ対面だっこ

(首がすわってから
11.3 kgまで)

タテ対面だっこで使うには

- ・タテだっこは、お子さまと向き合う「タテ対面だっこ」(13ページ)と、お子さまと一緒に前を向く「タテ前向きだっこ」(16ページ)ができます。
- ・あらかじめ、タテだっこ&おんぶシートをセットした、らくらくフィットボードを使用者が装着し、お子さまを抱き上げてタテだっこ&おんぶシートに入れてだっこします。
- ・長さアジャストホックの位置は、「タテ対面だっこ」「タテ前向きだっこ」とも短い状態にします。
- ・首のすわっていないお子さまは、「ヨコだっこ」でご使用ください。

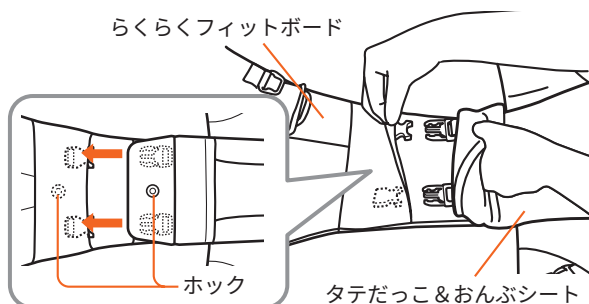
用意するもの ●タテだっこ&おんぶシート
●らくらくフィットボード (長さアジャストホックを短い状態にする)

らくらくフィットボードを準備する

1

タテだっこ & おんぶシートを取り付ける

タテだっこ&おんぶシート下部の2つのバックル(オス)を、らくらくフィットボード中央部のバックル(メス)に差し込み、ホックをとめます。



お子さまが大きくなった場合には

●深さアジャストベルトを調節する

お子さまの肩がタテだっこ&おんぶシートのヘッドサポートベルトに当たるようになったら、「深さアジャストベルト」を長くし、タテだっこ&おんぶシートを長くします。
(「深さアジャストベルトの長さを調節する」7ページをご覧ください)



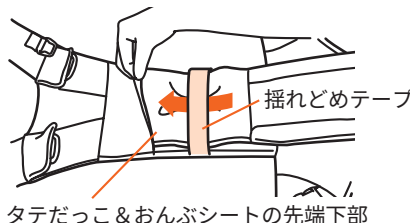
タテだっこ&おんぶシートが短いまま使用すると、お子さまが落下するおそれがあります。



深さアジャストベルトの余りは、必ず左右同じにしてください。左右のベルトの長さが異なると、お子さまが斜めになるおそれがあります。

●揺れどめテープを使う

「深さアジャストベルト」を長くしたときには、タテだっこ&おんぶシートの先端下部を「揺れどめテープ」を通して固定します。
※ただし、シートの重なり部分が多い場合は生地が厚くなるため「揺れどめテープ」に通らなくなることがあります。



深さアジャストベルトを最大にしたときには、必ず揺れどめテープを使用してください。





タテ対面だっこで使うには

2

ウエストバックルをとめる(8ページの手順1をご覧ください)

ウエストベルトを後ろにまわしてバックルでとめ、長さを調節します。

3

ショルダーバックルをとめる(8ページの手順2をご覧ください)

らくらくフィットボードを胸に当て、ショルダーベルトを背中で交差させてバックルでとめ、長さを調節します。(「ベルトの長さを調節する」7ページをご覧ください)

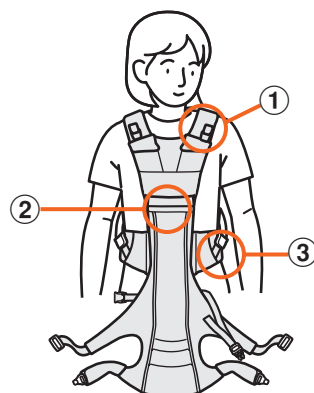


ショルダーベルトの余りは、左右同じ長さになるように調節してください。左右の長さが異なるとお子さまが斜めになるおそれがあります。

らくらくフィットボードの装着チェック

装着後は、以下の点をチェックしてください。

- ①ショルダーベルトの胸の部分が身体にフィットしていること
- ②「長さアジャストホック」は短い状態になっていること
- ③ウエストベルトとパッドは下腹部にしっかり固定されていること



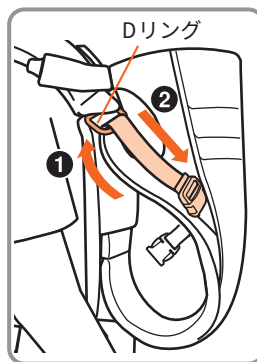
4

一方のセーフティバックルをDリングに通してとめる

タテだっこ&おんぶシートのセーフティバックルを持ち、①らくらくフィットボード胸部のDリングに、下から通し、②タテだっこ&おんぶシートのバックルに差し込み、とめます。



このバックルは、はずれたときにDリングで止まる、ダブルストッパー機構です。



セーフティバックル

お子さまをタテだっこ & おんぶシートに入れる

1

お子さまをだっこする

安全な場所に使用者が座わり、お子さまと向き合うように抱き上げ、タテだっこ & おんぶシートにお子さまを入れます。



お子さまの乗せおろしは、必ず安全な場所で行ってください。
不安定な場所などでは、お子さまが落下するおそれがあります。



タテ
対面
だっこ

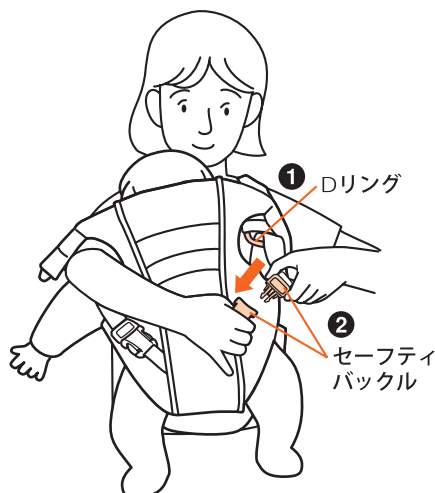
2

もう片方のセーフティバックルをとめる

タテだっこ & おんぶシートのもう片方のセーフティバックルを、1 らくらくフィットボードのDリングに下から通し、2 タテだっこ & おんぶシート表面のバックルに差し込み、とめます。



左右の「セーフティベルト」の長さは、きつめに調節してください。
お子さまと使用者の間にすき間がありすぎたり、左右のベルトの長さが違ったりすると、お子さまの予期せぬ動きに対応できず、落下するおそれがあります。



タテ
対面
だっこ
で
使う
には

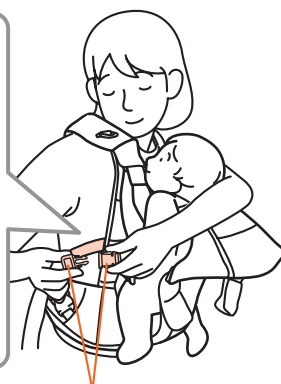
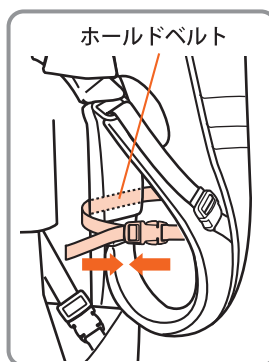
3

ホールドバックルをとめる

タテだっこ & おんぶシートのホールドベルトを、使用者とらくらくフィットボードの間を通してとめます。



ホールドベルトとお子さまの間のすき間に大人の指が2〜3本入れられることを確かめてください。きつかったり、ゆるすぎるときは、ホールドベルトの長さを調節してください。



ホールドバックル





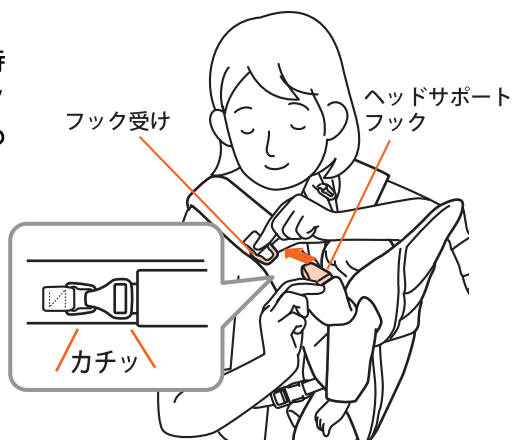
タテ対面だっこで使うには

4

ヘッドサポートフックをとめる

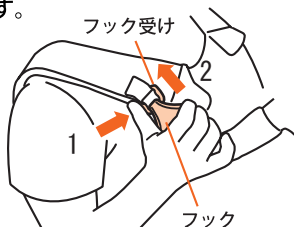
ヘッドサポートベルト両側のフックを持ち、らくらくフィットボード両肩のフック受けにかけ、「カチッ」と音がするまでとめます。

はずしかた
装着するときとは、逆の手順ではずします。



フックのはずしかた

- 1 親指でフック受けを押さえながら、
- 2 フックを持ち上げるようにしてはずします。



タテ対面だっこの装着完了



ヘッドサポートのスタイルとはたらき

style
2



ヘッドサポートが、眠ってしまったお子さまの頭をしっかりと支えます。

style
3



ヘッドサポートを外側に浅く折り曲げると、首を支えつつお子さまの視界を広げることができます。

style
4



ヘッドサポート
ベルト

ヘッドサポートを外側に深く折り曲げると、お子さまの腕を出すことができます。

このとき、ヘッドサポートベルトは一番長く伸ばしてください。

※style4は、腰がすわってから使用できます。



タテ前向きだっこで使うには

らくらくフィットボードを準備する

この手順に入る前に、「タテ対面だっこで使うには」(12ページから)の手順1～3をご覧ください。「らくらくフィットボード」を装着してください。

3 way

タテ前向きだっこ

(首がすわってから～11.3 kgまで)

1

タテだっこ&おんぶシートの股部をせまくする

タテだっこ&おんぶシートの中央部内側にある股部の横幅アジャストホックをとめ、股部の幅をせまくします。



必ず「横幅アジャストホック」をとめてご使用ください。お子さまの足がうっ血するおそれがあります。

横幅アジャスト
ホック



2

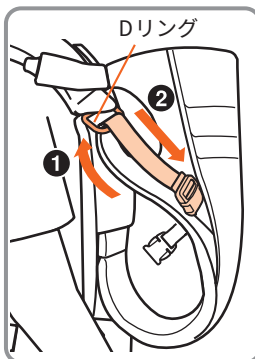
一方のセーフティバックルをDリングに通してとめる

タテだっこ&おんぶシートのセーフティバックルを持ち、① らくらくフィットボード胸部のDリングに、下から通し、② タテだっこ&おんぶシートのバックルに差し込み、とめます。



このバックルは、はずれたときにDリングで止まる、ダブルストッパー機構です。

Dリング



セーフティバックル



お子さまをタテだっこ&おんぶシートに入れる

1

お子さまをだっこする

安全な場所に使用者が座わり、お子さまを前向きに抱き上げ、タテだっこ&おんぶシートにお子さまを入れます。



つづく ➡



タテ前向きだっこで使うには

タテ前向きだっこ

タテ前向きだっこで使うには

2

もう片方のセーフティバックルをとめる

タテだっこ & おんぶシートのもう片方のセーフティバックルを、らくらくフィットボードのDリングに下から通し、タテだっこ & おんぶシート表面のバックルに差し込み、とめます。



左右の「セーフティベルト」の長さは、きつめに調節してください。

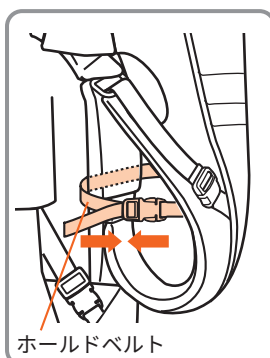
お子さまと使用者の間にすき間がありすぎたり、左右のベルトの長さが違ったりすると、お子さまの予期せぬ動きに対応できず、落下するおそれがあります。

3

ホールドバックルをとめる

タテだっこ & おんぶシートのホールドバックルを、使用者とらくらくフィットボードの間を通してとめます。

- ホールドベルトとお子さまの間のすき間に大人の指が2〜3本入れられることを確かめてください。きつかったり、ゆるすぎるときは、ホールドベルトの長さを調節してください。



ホールドベルト

ホールドバックル



4

ヘッドサポートフックをとめる

ヘッドサポートベルト両側のフックを、らくらくフィットボード両肩のフック受けにかけ、「カチッ」と音がするまでとめます。

はずしかた

装着するときとは、逆の手順ではずします。

タテ前向きだっこの装着完了



ヘッドサポートのスタイルとはたらき

style
5



お子さまの肩をしっかりと支えます。

style
6



ヘッドサポートを外側に深く折り曲げると、お子さまの腕を出すことができます。このとき、ヘッドサポートベルトは一番長く伸ばしてください。

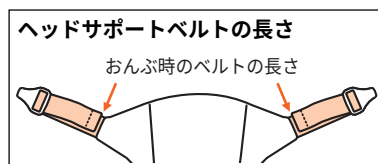
※style6は、腰がすわってから使用できます。

おんぶで使うには

- ・おんぶは、あらかじめ、タテだっこ&おんぶシートをセットした、らくらくフィットボードにお子さまを入れ、背負います。
- ・長さアジャストホックの位置は、長い状態にします。
- ・首のすわっていないお子さまは、「ヨコだっこ」でご使用ください。

用意するもの ●タテだっこ&おんぶシート(ヘッドサポートベルトの長さをおんぶ用に/下記イラスト参照)
●らくらくフィットボード(長さアジャストホックを長い状態にする)

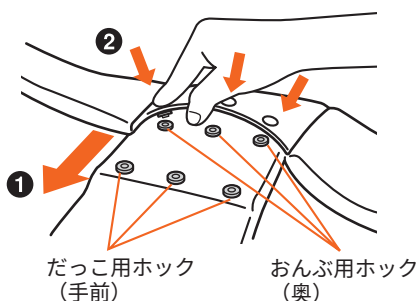
らくらくフィットボードを準備する



1

らくらくフィットボードを長い状態にする

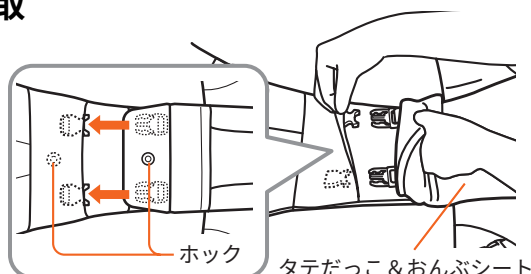
らくらくフィットボード下部のだっこ用にとめられている「長さアジャストホック」をはずし、①ボードを手前に引き、②おんぶ用にとめなおします。



2

タテだっこ&おんぶシートを取り付ける

タテだっこ&おんぶシート下部の2つのバックル(オス)を、らくらくフィットボード中央部のバックル(メス)に差し込み、ホックをとめます。



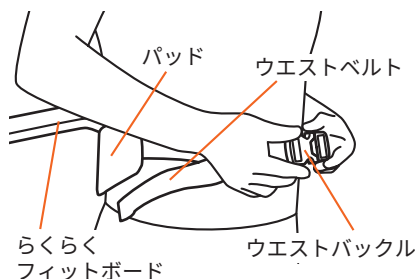
お子さまの肩が、タテだっこ&おんぶシートのヘッドサポートベルトに当たるときには「深さアジャストベルト」でタテだっこ&おんぶシートの長さを調節してください。また、ベルトを最大にしたときには、必ず「揺れどめテープ」を使用してください。詳しくは、12ページをご覧ください。

3

ウエストバックルをとめる

ウエストベルトを前にまわして、バックルでとめ、長さを調節します。

らくらくフィットボードのパッドが、使用者の腰にしっかりと固定されるように調節してください。



4 way

おんぶ

(首がすわってから)

14.9 kg
方月まで



おんぶで使うには

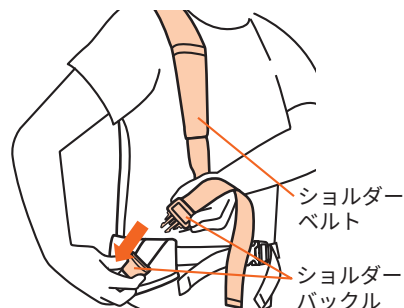
おんぶ

おんぶで使うには

4

ショルダーバックルをとめる

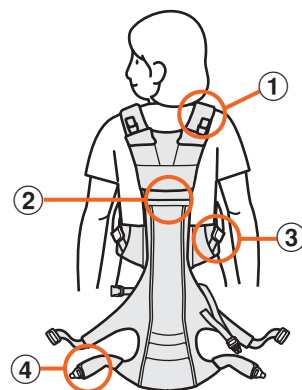
ショルダーベルトをリュック型にして、ショルダーバックルをとめ、長さを調節します。（「ショルダーベルトの長さを調節する」7ページをご覧ください）



らくらくフィットボードの装着チェック

装着後は、以下の点をチェックしてください。

- ① ショルダーベルトの肩の部分が身体にフィットしていること
- ② 「長さアジャストホック」は長い状態になっていること
- ③ ウエストベルトとパッドは下腹部にしっかり固定されていること
- ④ 「ヘッドサポートベルト」の長さは、おんぶ用になっていること



5

らくらくフィットボードを使用者からいったんはずす

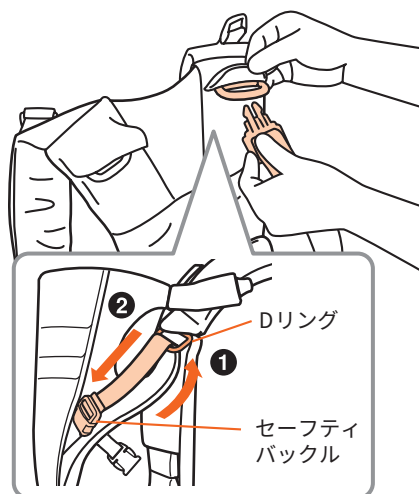
ウエストバックルをはずし、らくらくフィットボードを身体からはずします。

ご注意 このときショルダーバックルは、はずさないでください。

6

一方のセーフティバックルをDリングに通してとめる

タテだっこ＆おんぶシートのセーフティバックルの一方を持ち、① らくらくフィットボード胸部のDリングに下から通し、② タテだっこ＆おんぶシートのバックルに差し込み、とめます。



お子さまをタテだっこ&おんぶシートに入れる

1

お子さまを入れる

テーブルなど安全な場所にタテだっこ&おんぶシートを置き、お子さまをタテだっこ&おんぶシートに入れます。



お子さまの乗せおろしは、必ず安全な場所で行ってください。(他の人に介添えていただくと、より安全です)
不安定な場所などでは、お子さまが落下するおそれがあります。



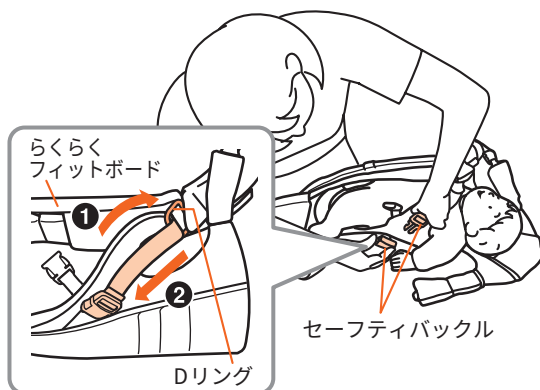
2

もう片方のセーフティバックルをとめる

タテだっこ&おんぶシートのもう片方のセーフティバックルを、①らくらくフィットボードのDリングに下から通し、②タテだっこ&おんぶシート表面のバックルに差し込み、とめます。



左右の「セーフティベルト」の長さは、きつめに調節してください。
お子さまと使用者の間にすき間がありすぎたり、左右のベルトの長さが違ったりすると、お子さまの予期せぬ動きに対応できず、落下するおそれがあります。

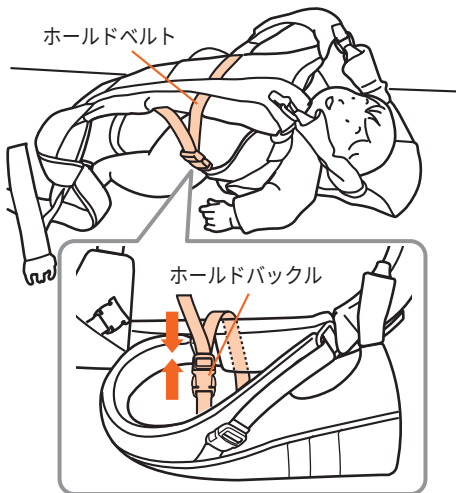


3

ホールドバックルをとめる

タテだっこ&おんぶシートのホールドバックルを、らくらくフィットボードの外側をまわしてとめます。

- ホールドベルトとお子さまの間のすき間に大人の指が2〜3本入れられることを確かめてください。きつかったり、ゆるすぎるときは、ホールドベルト長さを調節してください。
- お子さまの肩がタテだっこ&おんぶシートのヘッドサポートベルトに当たるようになったら、深さアジャストベルトを長くして、タテだっこ&おんぶシートの深さを調節してください。(詳しくは、12ページ)



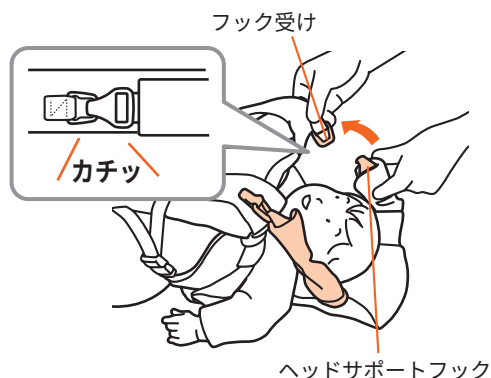


おんぶで使うには

4

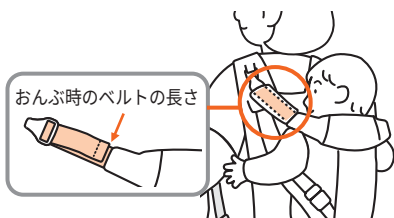
ヘッドサポートフックをとめる

ヘッドサポートベルト両側のフックを、
らくらくフィットボード両肩のフック受
けにかけ、「カチッ」と音がするまでとめ
ます。



おんぶ用にヘッドサポートベルトの長 さを調節するには

図のように、ベルトの端がベルトの始ま
りと重なる位置の長さに調節します。



「ヘッドサポートベルト」の長さは、ベルト
の端がベルトの始まりと重なる位置の長さ
に調節してください。それ以上の長さで
は、お子さまの予期せぬ動きに対応できず
落下するおそれがあります。

お子さまをおんぶする

1

お子さまを背負う

他の人に介添えしていただくと、より安
全です。

使用者が1人で背負うときには

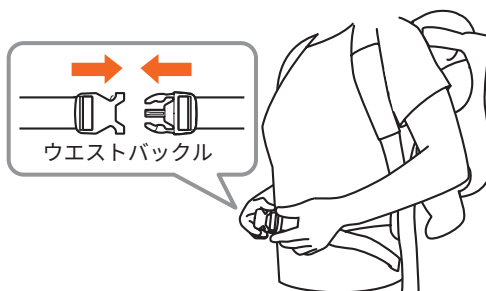
お子さまをソファなど安全な場所に置き、
背負うときは腰を低くして、ショルダーベ
ルトの上部を持って行ってください。



2

ウエストバックルをとめる

ウエストベルトを前にまわして、バックルでとめます。

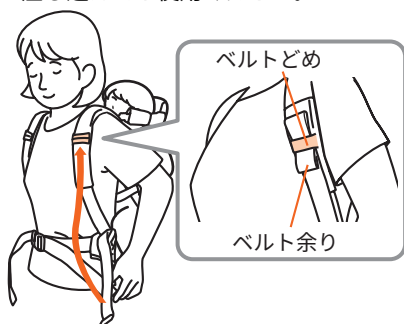


はずしかた

装着するときとは、逆の手順ではずします。

ベルトどめを使用して、ベルト余りをとめる

おんぶのときは、長さ調節したショルダーベルトの余り部分が長くなりますので、ショルダーベルト胸部のベルトどめに差し込んでご使用ください。



おんぶの装着完了



ヘッドサポートのスタイルとはたらき

style
7



ヘッドサポートを外側に浅く折り曲げると、首を支えつつ、お子さまの視界を広げることができます。

style
8



ヘッドサポートが、眠ってしまったお子さまの頭をしっかりと支えます。

お手入れ

日常のお手入れ

- 洗濯は水またはぬるま湯で押し洗いし、形を整えて日陰で平干ししてください。
- 軽い汚れの場合は、湿らせた布でたたいて落としてください。



注意

お子さまのよだれなどが生地につきますと、生地がかたくなる場合がありますのでその際には早めに洗濯してください。
かたくなった生地でお子さまの肌を傷つけるおそれがあります。

洗濯についてのご注意

- 色落ちすることがありますので、他のものとは別に洗ってください。また、つけ置き洗いも避けてください。
- 洗濯機、脱水機、乾燥機の使用はしないでください。バックルなどの破損につながるおそれがあります。
- 漂白剤、蛍光剤入りの洗剤は肌あれ・湿疹などの原因となりますので、使用しないでください。天然植物性の「コンビおむつ・肌着洗い」(粉末洗剤、液体洗剤)の使用をおすすめします。

■洗濯表示



■素材

製品カラー	主部位	外生地	メッシュ地	内生地	ベルト	バックル
ネイビーブルー レッド ブラック オレンジ		ナイロン	ポリエステル	ポリエステル	ポリプロピレン	ポリアセタール
アウトドアブラック		ナイロン ポリエステル				

コンビ株式会社

製品にお気づきの点がございましたら、「お客様相談室」までご連絡ください。

お客様相談室／〒339-0025 埼玉県岩槻市釣上新田271

TEL. (048) 797-1000 FAX. (048) 798-6109